



〈目指す学校像〉

～そこに美がある～「挨拶・清掃・歌声」を大切にする学校

謹賀新年

本年も

よろしく願いいたします

辰年

保護者・地域の皆様

旧年中は本校の教育活動に多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和 6 年も昨年のような穏やかな年明けを期待していたところですが、元日 16 時 10 分に、能登半島輪島を震源とする震度 7 の地震が発生し、正月の華やかな食卓や初詣でにぎわう景色が一変し建物の倒壊やライフラインの切断、そして多くの犠牲者が出てしまいました。亡くなられた方のご冥福を祈るとともに、被災した方々には心よりお見舞いを申し上げます。

災害や事故はいつ起こるかわかりません。日頃から災害発生に向けた準備を心がけることは勿論心と身体の健康を保持しつつ、今年度の締めくくりとなる三学期の教育活動を充実させたいと思います。一人一人の進級・進学に対し、明るく期待を持って前進していけるよう、職員一同全力で取り組んでまいりますので、本年も変わらぬお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

校長 田中晃

## 2 学期終業式の話から、3 学期への期待 「判断する」ということ

～終業式・前文略～

今年の大きな取組の一つに生徒会本部の提案から生徒心得の改定がありました。今日まで試行期間としましたが皆さんはどのように考えましたか。改定には「大東中生として、時と場と目的に応じた行動をとろう」という大事なことを掲げてくれています。このことに対して皆さんはどのように判断していますか。今日は、その「判断」ということについて考えてみてください。

私たちの生活では、常に何かしらの判断をしています。朝起きてから何をしているか思い出してください。起きて何からするか、何から食べるか、右か左かどちらを選ぶか、常に自分で判断してその結果によって「行動」しています。これらは自分で選択し、自分で完結できることですが、これが学校生活となるとその「判断」は人との関りや行動に対しての判断となるため「正しい判断」を迫られます。さて、今年（昨年）、自分の判断は果たして間違っていないでしょうか？もし、間違った判断をしたことがあるならば、正しい判断に修正しておきましょう。

決まりを守ることや授業への臨み方、友達への接し方など、果たして自分は正しい判断ができていたか振り返ってみましょう。このような見方をすると、「よく考えて正しく判断する」ということを積み重ねていくと、自然と自分の感性は鍛えられ、いざという時に適切な判断を瞬時にすることができるようになります。さらによりよい判断をするためには多くの知識や経験が必要です。そして知識や経験の積み重ねの上で「最良の判断」をするには「想像力」が欠かせません。

今、皆さんが勉強したり活動したり、いろいろな経験をしているのは、「自分が想像力を働かせて正しい判断をしてよりよく生きるため」です。そのことを忘れずに、よく考え、正しく判断し、責任を持って行動できるようにしましょう。

特に、私たちの人生においては難しい判断や人生を左右する大事な判断が必要な時があります。たとえば今、3 年生の進路選択はまさに今後の人生を左右する大事な判断の一つです。3 年生には今までの自分が培った判断力をもって決めたこととして、自信と責任を持って進路実現ができるよう頑張ってもらいたいと思います。（終業式での話はここまでとして略。以下、3 学期の始業式より）

さて、令和 5 年は辰年です。始業式では、辰は想像上の生き物として縁起の良い動物とされており、新年ではよく「昇り龍」のような天に向かって上昇していくような姿が表現されると話しました。このような生き物を創造した人々の想像力も素晴らしいですが、そのような縁起にあやかって、自分自身も上昇志向の素晴らしい年にしたいものです。3 学期の 1 月から 3 月はあっという間に過ぎていきます。一日一日が大切な積み重ねです。今年度の締めくくりの 3 学期として、仲間とともに正しい判断で充実の日を過ごしていきましょう。